

校長室だより

津市立美杉小学校

No.8

令和4年12月23日

(文責：上野毛戸)

命を守るために

12月20日に美杉幹部交番の所長さんをはじめ3人の警察官の方に来ていただき、不審者対応の避難訓練を行いました。

内容は、6年教室に不審者が侵入したため、教師の指示によって6年生以下の全校児童が校舎から避難するという訓練でした。

不審者が侵入した6年教室といち早く異常を察知した5年教室から、5・6年生がまず避難して、連絡を受けた職員が放送室から全校児童の避難を指示するといった内容で訓練は進みました。放送による指示から児童が運動場へ避難するまでにかかった時間は2分間ほどでしたが、万が一、そのような事態になったときには、もっと長い時間、緊張や不安が続くかもしれないことを避難し終えた子どもたちに話しました。もし、子どもだけで危ない目にあいそうになった時には、どうすれば自分や友達の命が守れるかを考えてほしいとも話しました。



所長さんからは、美杉では大きな事件は起こっていないが、これからも絶対に子どもたちがねらわれる事件が起こらないとは言いきれないこと、万が一のことに備えなければいけないから訓練は大事であるといったお話をしていただきました。危険だと感じたら、相手と距離を取ったりその場から離れたりすることが大切だとのお話もしていただきました。

危害を加えられている実感に乏しい写真撮影の被害報告も聞くことがあります。冬休みに向け、子どもたちをねらう犯罪から子どもたちを守るために、どんな備えが必要かを御家庭でも話題にしていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染状況は、まだまだ予断を許さない状況が続いています。市内の小中学校での感染者数も減るところか県内の状況と同じように増加傾向にあるようです。

本校では、御家庭での感染症対策の徹底をしていただいているおかげもあり、2学期も大規模な感染は起こらず、教育活動が停止する事態は免れています。

冬休みについても、昨日配布した「冬季休業中の健康管理の徹底について」のプリント等を参考にいただき、引き続き子どもたちの健康管理の徹底をお願いいたします。

地域の方との出会いを大切に

2学期の出会い学習では、4年生は青木雅俊さんから地域に根差した林業、5年生は片野真一郎さんから命を大切にいただくという畜産業への思い、6年生は阪田崇稔さんから障がい者差別をなくすための取組をそれぞれ学んできました。たくさんの地域の方からさまざまなことを子どもたちは学んでいます。

このような学習を通して、子どもたちは、お互いの立場を知り、思いを語り合えるようになっていくのだと思います。

12月4日には、「美杉人権を考えるつどい」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染状況等から広く参加者を募ることはできなかったとのことでしたが、美杉小学校（小学校代表は6年生瀧本奈々さん）と美杉中学校の代表の作文発表、中学生学習会メンバーによる学習発表の後、「LGBTの家族と友人をつなぐ会」の浦狩知子さんによる講演会が行われました。講演では、性同一性障がいに悩むわが子の本当の心情を知り、行動された親の思いを聞かせていただきました。私自身も一人の親として考えさせられる内容でもあり、保護者の方々にも広く聞いていただけるといいなと思える講演でした。